

# 南島原の考古学 そせい粗製土器とせいせい精製土器 ～権現脇遺跡(深江町)～

縄文時代後期(約4,000年前)になると、文様がほとんどなく厚手で粗い作りの「粗製土器」と、器面が磨かれ薄手で丁寧な作りの「精製土器」のふたつが作られるようになります。そして晩期(約3,000年前)には、この「粗製土器」と「精製土器」はそれぞれの特徴をさらに発展させ、両者の区分は明確化していきます。

粗製土器は、背の高い土器である深鉢に多く見られ、器面をならすために貝殻などで掻き取る作業が行われます。しかしそれをなで消すような作業はされず、粗い掻き取り跡は器面に残ったままで、あたかもシマシマの文様として楽しんでいるかのようです。

一方、背の低い土器である浅鉢に多く見られる精製土器は、器壁が極限まで薄くなり、光沢をもつくらいまでに磨かれます。また焼き上げの段階で真っ黒になるように特別な焼成方法がとられ、一見金属製かプラスチック製かと思いがうほどです。その土器製作技術は縄文時代のなかでも最高到達点に達しているといってもよいでしょう。

標高200m前後の雲仙普賢岳東麓に位置する権現脇遺跡は、比較的長く継続して人々が住み続けた、九州の縄文・弥生移行期を代表する稀有で重要な遺跡です。そのため、ひと時期の断片的な情報ではなく、出土した大量の土器から時期・年代を追って縄文土器が粗製土器と精製土器に二分化した過程をはっきりととらえることができます。

粗製と精製、これを見分けることができれば、あなたも立派な土器博士!



粗製土器(右前)と精製土器(左奥)

## 8月～9月の小企画

8月1日(金)～9月29日(月)

※休館日：火曜日

午前9時～午後5時

(入館は午後4時30分まで)

深江埋蔵文化財・噴火災害資料館

一般…200円/高校生…150円/

中学生以下…無料

※団体割引あり

※企画展は入館料のみでご覧いただけます。

文化財課(南有馬庁舎) ☎73-6705

こんにちは!消費生活センターです 南島原市消費生活センター ☎82-3010

## 無料のセミナーに参加したら、高額な自己啓発セミナーを契約!?

～雰囲気にならず、冷静な判断を～

### ●相談事例

大学の先輩に、WEB上での起業家主催の無料セミナーに誘われた。

セミナーのあとの個別面談で、コミュニケーション能力向上のための自己啓発セミナーへの参加を勧められた。参加費が60万円と高く断ったが、カウンセラーから「このままだと就職できない。みんな学生ローンを組んで参加している。あなただけ取り残される」と言われ、怖くなって応じた。

指示を受けてサラ金から借金し、振り込んだが、とても後悔している。解約して返金してほしい。

### <消費生活センターからのアドバイス>



事例のように、販売目的を隠してセミナーに参加させることや、断っている人に勧誘を続けることは、特定商取引法の禁止行為に該当する可能性があります。解約交渉しようとしても、相手事業者が拒否したり、連絡がとれなくなったりするなど、解決が困難な場合もあります。どんなに親しい人からの誘いでも、その先にお金の話が出てきたら要注意です。その場では応じず、本当に高額を支払う価値があるのか、冷静に考えて検討しましょう。

困ったことがあったら、一人で悩まず、家族や友人、消費生活センターにご相談ください。

消費生活センターには、無料だからと安易に参加したセミナーで高額な契約をし、被害にあってしまった、という相談が寄せられています。特に、社会経験の浅い若年者を狙って、就職などへの不安を煽り、借金させてまで契約させる悪質な勧誘も起きています。

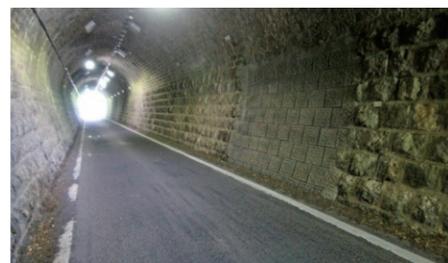
# つなごう未来へ! 島原半島ユネスコ世界ジオパーク



島原半島ジオパーク協議会 ☎0957-65-5540  
E-mail: info@unzen-geopark.jp

## 『戦時遺構』 旧道を走るトンネルの秘密

千々石町から小浜町へ向かう橋湾沿いの道(県道201号)を進むと、トンネルが見えてきます。トンネルに入り、およそ15メートル進んだところで右側の内壁に目を向けると、ある“違和感”に気付くかもしれません。他と比べ壁の一部が滑らかで、まるで補修されたように見えるのです。なぜこの場所だけ様子が異なるのでしょうか?その謎を解く手がかりはトンネルの外にありました。



千々石トンネルの穴を埋めた部分

トンネルの外側に出てみると、約5メートルの「横穴」が確認できます。これは、第二次世界大戦中に掘られたものです。当時、この場所に砲台を設置するため、トンネル内から穴が掘られました。ここの岩盤は、約26万年前に噴出した猿葉山(さるばざん)の硬い溶岩でできており、掘削作業は困難を極めました。先人たちは、少しでも作業を進めやすくするために、岩盤の亀裂に沿って横穴を掘り進めた形跡が今も残っています。戦後、この横穴は使われなくなり、トンネル内部の開口部も塞がれて、現在見られるような滑らかな“補修壁”として残されたのです。

普段は気にも留めないトンネルの一角。しかしその壁一枚の奥には、戦時中の記憶と硬い溶岩の掘削に挑んだ先人の痕跡が静かに息づいています。今年で戦後80年、時の流れを感じさせられる場所です。



ジオくん  
夏  
の  
橋  
湾  
を  
望  
む

## 第72回 ジオ空教室(子ども向け)

夏休みのわくわく体験!

～サップとアクセサリー作りで海について学ぼう～



島原半島の歴史・文化・自然、そしてそれらを支えるジオの魅力を、その道のプロが毎回たのしく紹介します。ふるってご参加ください!

8月24日(日)

午前10時～午後1時(受付:午前9時30分～)

※当日の天候や潮の状況により内容が変更になる場合があります。

加津佐前浜海水浴場B&G海洋センター(加津佐町)

ジオパークの見どころをサップ体験しながら専門員の解説付きで

見学します。海のごみ拾いをした後、ワークショップを行います。

※小学4年生未満の人は、保護者と2人乗りサップとなります。

●持参品…ゴーグル、着替え、タオル、帽子

※事前に水着に着替えてからお越しください。

●協力…加津佐B&G海洋センター艇庫

南島原市B&G海洋センター指導者会

定10人(先着順) ※18歳未満の人は、保護者同伴

料無料 8月18日(月)

☎電話または必要事項(氏名、住所、性別、生年月日、電話番号)を記載の上、Eメールで申し込んでください。